

# 「肝胆膵疾患領域の外科手術」についてご説明します。



外科 科長  
水谷 知央  
みずたに ともひろ

## はじめに

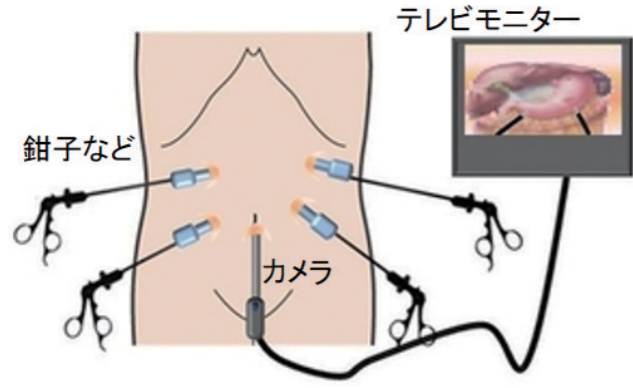
肝胆膵疾患領域の外科手術について、と言われても皆さまにとって はなじみの薄い分野であり、また内容も多岐にわたり、なかなか取っ付きにくい分野であろうかと思われ ます。読んで字のごとく、肝臓、胆 道、膵臓、(脾臓)に関する外科(内 科)治療を行っています。

## 扱っている疾患、術式

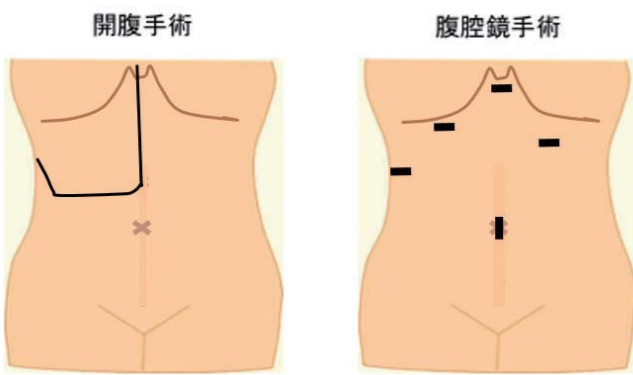
●悪性腫瘍：肝細胞がん、胆管が ん、胆嚢がん、肝内胆管がん、転 移性肝腫瘍、膵がん、十二指腸乳 頭部がん、十二指腸がんなど  
●良性腫瘍、良性疾患：胆石、総 胆管結石、肝内結石、胆嚢ポリー

## 開腹手術と腹腔鏡下手術

私たち外科医の仕事としては、 やはり手術ということになります が、大きくわけて開腹手術と腹腔 鏡手術をしています。開腹手術と は、従来のお腹を切って、実際に お腹の中を見て触りながら手 術をします。腹腔鏡手術とは、お 腹の壁に小さな孔を開け、内視鏡 と呼ばれるカメラをお腹の中に挿 入し、モニターに映ったお腹の中 の映像を見ながら手術をします。 腹腔鏡下手術は、その代 表でしょうか。



腹腔鏡下手術



肝切除の場合の両手術おける創部の比較

## 腹腔鏡手術のメリット

開腹手術も腹腔鏡手術も、最終 的にはほぼ同様の手術となるので すが、腹腔鏡手術の場合は腹腔内 に炭酸ガスを充満させ、お腹を膨 らませて、そのスペースの中で作 業をするところが、開腹手術との 大いなる違いです。そのメリット としては、小さな傷(ポットと呼 ばれる、作業をする孔)を数カ所 開けることから、傷口が目立たな いため、美容面に優れる点が挙げ られます。また、カメラが臓器に 近付くため、非常に大きく近接し

きょうは 外科 です

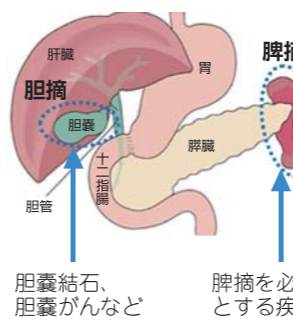


こんにちは 診察室です。

プ、膵管内乳頭粘液性腫瘍、膵粘 液性嚢胞腫瘍など  
●内科的疾患：肝硬変、急性肝不 全、急性膵炎、脾摘の必要な内科 疾患など

以上の疾患に対して、手術、抗がん 剤、分子標的薬、採石、薬物治療、 内科的疾患に対する外科的治療な ど、肝胆膵領域の多岐にわたる疾 患に対して診療を行っています。

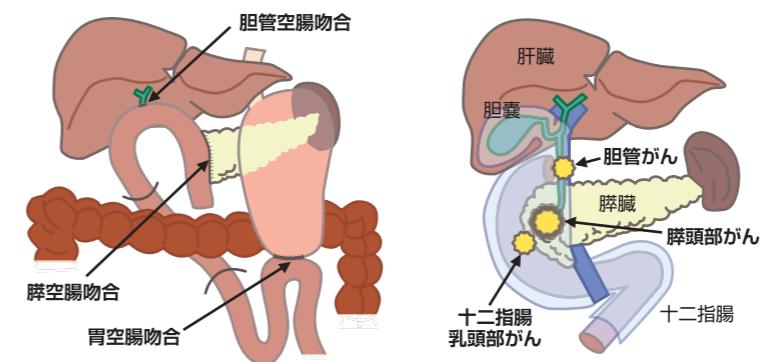
## 胆嚢摘出術(胆摘) 脾臓摘出術(脾摘)



胆嚢結石、胆嚢がんなど

脾摘を必要とする疾患

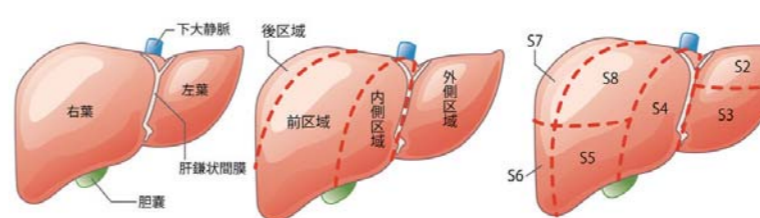
## 膵頭十二指腸切除術



膵頭十二指腸切除術と再建術式

膵がん、胆管がん、十二指腸乳頭部がん、十二指腸がんなど

## 肝切除術



肝がん、肝内胆管がん、胆嚢がんなどには肝葉切除、区域切除、亜区域切除などを行う

て観察することができ、通常では できない、下からのぞき込むよう な視野も可能です。そのため、確 認できない細かな血管や組織など が確認でき、それに対して細かな 操作が可能になります。最近では ロボット手術も普及し始めてお り、より細やかな操作が可能に なってきています。

## 開腹手術のメリット

臓器を大きく転がしたり、大き な俯瞰から術野を観察できるた め、ダイナミックな手術が可能で す。実際、肝胆膵領域では、臓器 を大きく動かしたり、手技が煩雑 であったり、切除範囲が広範囲に 及ぶため、まだまだ動作制限があ る腹腔鏡手術ではメリットが少な く、開腹手術を選択することが多 いです。それでも、腹腔鏡手術で のメリットが感じられる分野で は、積極的に腹腔鏡手術を行って います。

開腹手術では創部は大きくなり (特に肝胆膵分野では大きくなる 傾向があります)、体へのダメージ が大きく、回復に時間がかかる

ように思われますが、実際には、 ほぼ同程度の入院期間で退院され ます。

## おわりに

肝胆膵疾患領域の外科手術には、 臓器によって様々な疾患があり、 様々な術式があります。分かりに くい領域だと思いますので、心配 であれば、一度ご相談ください。

開腹手術も腹腔鏡手術も、どち らも優れた面があり、特にロボッ ト手術を含む、腹腔鏡手術での道 具や性能の進化には目を見張るも のがあります。積極的に腹腔鏡手 術を行っています。特に肝胆膵 領域の大きな手術においては、開 腹手術が優れる場合も多々あり、 疾患や臓器、病態別にそれぞれど ちらを選択するか決定していま す。一番大切なことは、丁寧に確 実に治療をする、それが全てと考 えています。

いつでも気軽に相談しに来てく ださい。一緒に治療をしていきま しょう。